



生きる ことばを 紡ぐ

金迅野

Shinya Kim

川崎で誕生したラッパー/詩人 FUNI と
金迅野のトークセッション

FUNI

Jeong-Hoon Kwak

働くことに疲れて、大失恋をして、
体は丈夫なのにベッドから起きられない日々が続きました。
これが死ぬまで続くのはしんどいなあと感じていました。
その時に欲しかったのは食べ物でも薬でもなく、たった1日を生き抜くた
めの「言葉」でした。ニュースや法律、勉強や広告のためでなく、私たちが
生きるために必要な言葉はなんなんでしょうか？

FUNI

■ FUNI | 郭正勲 ■

Rapper、詩人、「Mewtant Homosapience」のMC 担当。
神奈川県川崎市生まれ。中央大学経済学部卒業。

2002 年ラップユニット「KP」デビュー、2007 年 SSWS グランドチャンピオン。
2010 年よりプロデューサー兼トラックメーカーの OCTOPOD、ラッパー
INHA と Mewtant Homosapience 結成。現在はライブ活動のほか、少年院など
でラップワークショップ開催。

【出演・監修作品・作品】 ●2004 年「NHK「ハングル講座」ラップ講師 ●2006
年 金城一紀原作『GO』の舞台化において俳優、楽曲の提供。 ●マンガ「ヤ
ミ川崎〜もがきの境界線〜」ラップ監修。 ●NHK「ノーナレ／川崎サウスサ
イドラップ」(2019 年 7 月放送) 出演。 ●毎日新聞オンラインイベント「に
ほんでいきる」(2021 年 1 月開催) 出演。 ●日本の詩×世界の詩「て、わた
し」～第二号 ともに生きるための言葉 (2017 年発行：てわたしボックス)

●『Outsiders: Memories of Migration to and from North Korea/Markus
Bell 著』(2021 年 10 月) ●作家、高川和也の作品「そのリズムにのせて」
に出演 ●作家、飯山由貴の作品「In-mates」に出演 ●アルバム作品
「KAWASAKI2-2 ~ME, WE~」

イラストレーターの金井真紀さんが
描いてくれた似顔絵！



■ 金迅野 ■

在日コリアン2世の父と
日本人の母の間に、東京で生まれました。
東京には台湾人のいとこがいます。
そして朝鮮半島の南北にもいとこが
います。キリスト教会の牧師と大学教員を
やっています。6 人の人のおじいさんで
もあります。7 月に『ヘイトをのりこえ
る教室』という本を友人とだします。

人間は生活のうえで必需ではない詩を
なぜ放棄しないのでしょうか。
表現(expression)も書き出すこと
(description)もほんとうは、心に刻
まれたなにか(inscription)がなけれ
ば成り立たないのではないのでしょうか。
「ことば」はどういうときに湧き出てくる
のでしょうか。「人間は一人では生きて
いけない」ことの意味とあわせてともに
考えてみたいと思います。

金迅野

コーディネーター 榎井縁 (大阪大学)



開催日：2023 年 8 月 18 日 (金) 16～18 時

会場：IKUNO・多文化ふらっと事務所

大阪市生野区桃谷5丁目5-37 いくのコーライブスパーク (御幸森小学校跡地) A 棟 2F

参加費無料 要申込み (定員 30 人：申込は上記 QR コードよりアクセスしてください)